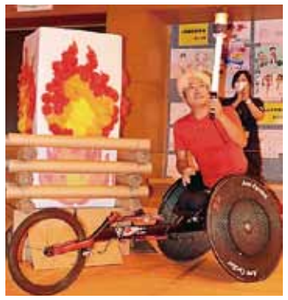
まちの話題



東京2020パラリンピック 弥富市採火式

8月14日(土)、総合福祉センターにて、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため規模を縮小して行いました。採火式では参加した障がい児・障がい者が火花に見立てた花を焚火台のオブジェに貼り付けて「やとみの火」を起こし、その火をパラスポーツアスリート吉村 正年(よしむら まさとし)さんにより採火されました。

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 愛知県【集火式・出立式】

8月15日(日)、愛知県庁にて、愛知県内49市町村が独自の手法で採火した火を1つに集め、聖火皿に「愛知県の聖火」を起こしました。「愛知県の聖火」は県を代表してMICRO氏によって聖火皿からトーチへ移され、競技会場の東京へ向けて、出立を宣言されました。

東京2020パラリンピック応援ポスター

パラリンピックを盛り上げ、障がい者アスリートを応援しようという想いから市内小中学生を対象にポスターを募集したところ、総数347点の作品が寄せられました。たくさんの作品をご応募いただきありがとうございました。多数の作品の中から厳選なる選考の結果、下記のとおり入選作品を決定しましたのでご紹介します。入賞された皆さんおめでとうございました。

【市長賞】弥富北中学校
3年　林 萌乃夏(はやし ほのか)

【教育長賞】桜小学校
5年　生田 彩(いくた あや)

【入選作品】

桜小学校	4年	鈴村 優葉
桜小学校	4年	伊東 直樹
桜小学校	6年	ユスフ サクラ
桜小学校	6年	村上 琴音
桜小学校	6年	安藤 里紗
弥生小学校	6年	川西 里乃愛
弥生小学校	6年	加藤 葵
日の出小学校	6年	吉村 結奈
日の出小学校	5年	星出 和音
栄南小学校	6年	和田 結愛

ちょっと一息 “防災” 防災クイズに挑戦してみませんか？

問題 17年前の2004年10月下旬の中越地震(新潟県)の際、小千谷市の一部の地区では、ある場所が避難所となりました。それはどこでしょうか？

❶ 洞窟の中

❷ かまくらの中

❸ ビニールハウス

答えはP19の下をご覧ください。

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

服部擔風漢詩碑

桜大橋の「山口誓子句碑」から東へ進むと、総合社会教育センターの玄関の横に服部擔風(たんぷう)の漢詩碑があります。

擔風は慶応3(1867)年に鯏浦で生まれ、昭和39年に96歳で亡くなるまで生涯を弥富で過ごした漢詩人・文化人で、市の名誉市民となっています。

擔風の漢詩は情・韻ともにすぐれ繊細な表現や新鮮な感覚を取り入れた詩風が高く評価され、昭和28年に「擔風詩集」で日本芸術院賞を受賞しました。また全国で40以上の漢詩社を指導し、日本の漢詩の発展に大きな役割を果たしました。

この碑には「台閣(たいかく)の功名(こうめい)　画餅(がへい)の如し　操持(そうじ)幸いに未だ　当初に負(そむ)かず　白鷗春水(はくおうしゅんすい)　忘機(ぼうき)久し　我もまた蘇江(そこう)の一老漁(いちろうぎょ)」という詩が刻まれています。“名声を上げることではなく川辺で穏やかに生きることが自分にふさわしい”という、擔風らしい故郷への愛情や静穏な生活への喜びがうかがえます。

服部擔風漢詩碑

市長の部屋

▲弥富市採火式

気持ちのいい秋風が吹き渡るころとなりましたがお元気でお過ごしでしょうか。昨年1月から続く新型コロナウイルス感染症が依然として猛威を振るう中、本市におきましては、希望された多くの方へのワクチン接種が進んでおります。ワクチンに期待される効果は、「感染予防の効果」「発症予防の効果」「重症化予防の効果」「集団免疫の効果」があるとされております。これからも一日でも早く希望される市民全ての方にワクチン接種が進みますよう職員一丸となって取り組んでまいります。コロナ禍で何かとご不便なこともあるかと思いますが紅葉に彩られる季節をどうか健やかにお過ごしください。

弥富市長 安藤正明

答え ③10月下旬に発生した中越地震では、近所で集まり、暖かいビニールハウスの中で避難生活を送った人達がいました。地域で有効に使用できるものを活用した良い事例です。